

男女別の事故 死亡件数

— 学校の管理下における死亡・障害 —

1. 死亡件数

区分	平成19年度		平成20年度		平成21年度		合計		割合
	死亡件数	うち突然死	死亡件数	うち突然死	死亡件数	うち突然死	死亡件数	うち突然死	
男	55	31	60	28	52	28	167	87	52%
女	20	10	14	7	16	11	50	28	56%
計	75	41	74	35	68	39	217	115	53%

学校の管理下で平成19年～21年度に給付した発生死亡件数を男女別に比較すると、男子が77%と圧倒的に多くなっています。

その内、突然死数でも男子の死亡が多いですが、男女の割合には大きな差はありません。



2. 平成21年度学校種別の死亡件数

さらに、21年度に給付した学校種別死亡発生件数で比較すると、男子が圧倒的に多く、年齢が高くなるほど増え、突然死以外(頭部外傷など)の件数も多くなっています。女子は年齢に関係なく突然死が多くの割合を占めています。



区分	男女別	小学校	中学校	高等学校 高等専門 学校	特別支援 学校	幼稚園 保育所	計
死亡件数	男	10	12	25	2	3	52
	女	2	1	6	3	4	16
	計	12	13	31	5	7	68
うち突然死	男	8	4	11	2	3	28
	女	2	0	4	2	3	11
	計	10	4	15	4	6	39



学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点
〈平成22年版〉(H23.3発行)



学校における突然死予防必携
-改訂版-(H23.2発行)

上記データはセンター発行の左記報告書に掲載しているデータを引用しています



<http://naash.go.jp/anzen/>

男女別の事故 障害件数

— 学校の管理下における死亡・障害 —

1. 障害件数

過去3年の障害事例件数を見ると、**男子は女子の2倍以上の発生件数**であることがわかります。



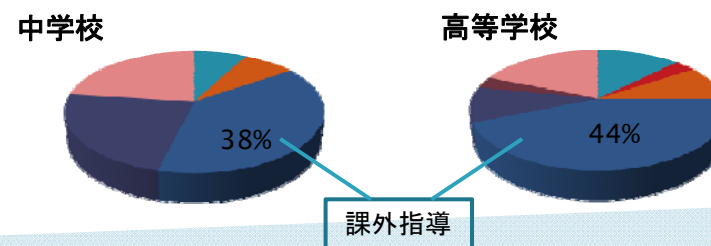
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	計
男	352	325	315	992
女	145	140	148	433
計	497	465	463	1425

2. 平成21年度学校種別の障害件数

21年度に給付した学校種別障害発生件数の小、中、高等学校で比較すると、**男子は死亡と同じように年齢が高くなるにつれて上昇傾向にあります。女子は、むしろ年齢が高くなると減少傾向が見られます。**

	小学校	中学校	高等学校 高等専門 学校	特別支援 学校	幼稚園 保育園
男	60	103	137	4	11
女	59	39	33	4	13
計	119	142	170	8	24

さらに件数の多い中・高等学校の男子を場合別にみると、他の場合別と比べて多いのは**課外指導**です。
これは激しい運動をとまなうスポーツでの事故が増加するからと読み取れます。



学校における死亡・障害は、中・高等学校の特に男子の運動中に多く見受けられることがわかりました。

原因は様々ではありますが、準備・整理運動をしっかりと行う、指導・管理体制の整備を見直すことが予防の近道になるのではないのでしょうか。